

## 冷凍水産物需給情報（平成19年8月）

－平成19年度第2回冷凍水産物需給情報検討会の協議結果－

以下の表は、さけ・ます類、えび類、いか類、さば類、について、最近までの需給動向を整理するとともに、今後の冷凍水産物の需給見通し（平成19年7月～9月の供給量、卸売価格）に関する検討結果を取りまとめたものです。

	最近までの動向				冷凍水産物需給見通し (19年7～9月)
	生産量 (19年4～6月)	輸入量 (19年4～6月)	在庫量 (19年5月)	卸売(築地)価格 (19年4～6月)	
さけ・ます類	<b>5,985t</b> (水産庁調べ) 前年比 147% 平年比 136% 前期比 614%	<b>35,280t</b> (貿易統計) 前年比 120% 平年比 94% 前期比 47%	<b>冷凍</b> <b>102,471t</b> (流通統計) 前年比 106% 平年比 113% 3ヶ月前比 85%  ○参考(在庫統計) 前年比 113% 3ヶ月前比 95%  <b>塩蔵</b> <b>7,824t</b> (流通統計) 前年比 130% 平年比 87% 3ヶ月前比 64%  ○参考(在庫統計) 前年比 185% 3ヶ月前比 76%	<b>さけ・ます類</b> (冷凍 総平均価格) <b>628円/Kg</b> 前年比 97% 平年比 124% 前期比 104%	<b>供給量</b> <i>前年比: やや増加</i>  <i>平年比: 並み</i>  <b>卸売価格</b>  <i>前年比: やや弱含み</i>  <i>平年比: やや強含み</i>  <i>前期比: やや弱含み</i>
えび類		<b>46,465t</b> (貿易統計) 前年比 92% 平年比 89% 前期比 120%	<b>75,687t</b> (流通統計) 前年比 100% 平年比 105% 3ヶ月前比 86%  ○参考(在庫統計) 前年比 103% 3ヶ月前比 82%	<b>えび類</b> (冷凍 総平均価格) <b>1,336円/Kg</b> 前年比 101% 平年比 100% 前期比 99%	<b>供給量</b> <i>前年比: 減少</i>  <i>平年比: 減少</i>  <b>卸売価格</b>  <i>前年比: やや強含み</i> <i>平年比: やや強含み</i> <i>前期比: やや強含み</i>
いか類	<b>8,459t</b> (水産庁調べ) 前年比 49% 平年比 46% 前期比 55%	<b>34,310t</b> (貿易統計) 前年比 130% 平年比 137% 前期比 179%	<b>68,851t</b> (流通統計) 前年比 90% 平年比 86% 3ヶ月前比 78%  ○参考(在庫統計) 前年比 102% 3ヶ月前比 100%	<b>いか類</b> (冷凍 総平均価格) <b>607円/Kg</b> 前年比 109% 平年比 115% 前期比 103%	<b>供給量</b> <i>前年比: 並み</i>  <i>平年比: 減少</i>  <b>卸売価格</b>  <i>前年比: 横ばい</i> <i>平年比: 横ばい</i> <i>前期比: 横ばい</i>

	最近までの動向				冷凍水産物需給見通し (19年7～9月)
	生産量 (19年4～6月)	輸入量 (19年4～6月)	在庫量 (19年5月)	卸売(築地)価格 (19年4～6月)	
さば類	37,748t (水産庁調べ) 前年比 50% 平年比 67% 前期比 38%	4,257t (貿易統計) 前年比 155% 平年比 40% 前期比 40%	96,318t (流通統計) 前年比 111% 平年比 110% 3ヶ月前比 71%  ○参考(在庫統計) 前年比 66% 3ヶ月前比72%	さば類 (冷凍 総平均価格) 399円/Kg 前年比 75% 平年比 108% 前期比 83%	供給量 前年比:減少 平年比:かなり増加  卸売価格 前年比:弱含み 平年比:やや強含み 前期比:横ばい
さんま	153t (水産庁調べ) 前年比 728% 平年比 567% 前期比 1093%	80t (貿易統計) 前年比 84% 平年比 81% 前期比 75%	30,039t (流通統計) 前年比 74% 平年比 80% 3ヶ月前比 70%  ○参考(在庫統計) 前年比 87% 3ヶ月前比102%	さんま (冷凍 総平均価格) 261円/Kg 前年比 115% 平年比 96% 前期比 124%	供給量 前年比:大幅に増加 平年比:大幅に増加  卸売価格 前年比:弱含み 平年比:かなり弱含み 前期比:かなり弱含み

1. 需給の見通しは消費地市場を中心としたものであり、前年比については平成18年7～9月と対比した傾向を表し、平年比とは平成14～18年と対比した傾向を表し、前期比については平成19年4～6月と対比した傾向を表すものである。なお、この場合の供給量とは、我が国の生産量と輸入量の合計と定義している。

※供給量は、いずれの魚種も主な漁期が限られ四半期毎の変動は自明であるため、前期比の見通しは省略している。

2. 「生産量」の欄の「水産庁調べ」とは農林水産省の「漁業養殖業生産統計」の前年の値と、さけ・ます類、たこ類については(社)漁業情報サービスセンター(JAFIC)調べ、その他の魚種については農林水産省の「産地水産物流通統計速報」における今四半期の前年比より推定した値である。

3. 「輸入量」の欄の「貿易統計」とは財務省関税局「貿易統計」である。

4. 「在庫量」の欄の「流通統計」とは農林水産省の「冷蔵水産物流通統計速報」である。(全国の主要56市町村を「在庫統計」とは東京都区内及び大阪市の冷蔵能力1万トン級以上の全ての営業用冷凍・冷蔵工場を対象とした農林水産省統計部の在庫調査のデータである。

5. えび類の生産量については、国内生産がわずかなため省略している。

6. えび類の輸入の統計からは、いせえび及びロブスターを除いている。

凡例(目安)

	供給量	卸売価格
0～2%	並み	横ばい
3～10	やや増加(減少)	やや強(弱)含み
11～20	増加(減少)	強(弱)含み
21～51	かなり増加(減少)	かなり強(弱)含み
51～	大幅に増加(減少)	〃

問い合わせ先: 水産庁加工流通課調整班 山尾・嶋田  
 代表: 03-3502-8111  
 内線6616  
 ダイヤルイン: 03-6744-2350